PAW-1360(21020)

施工説明書

手洗器セット

※カウンターは現場準備です。

このQRコードは
メーカー管理用です。

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書をお客さまにお渡しください。

●安全上のご注意

- ●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ●施工完了後、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- ●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管いただくように依頼してください。

用語および記号の説明

警告 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ …… 「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

分解禁止 …… 「分解してはいけません！」　指示実行 …… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

禁止 …… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

⚠警告

手洗器の固定は確実に行ってください。
※落下・転倒などによってケガをする恐れがあります。　指示実行

⚠注意

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※破損しケガをすることがあります。　分解禁止

水道水以外に接続しないでください。
※内部の腐食により破損や漏れ、故障の原因となります。　禁止

給水は上水道に接続してください。
※温泉水などの異物を多く含む水には使用できません。　指示実行

湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをする恐れがあります。　禁止

水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。
※湯・水が噴き出し、ヤケドや家財等を濡らす恐れがあります。　禁止

お湯の使用中に、他所の水栓の同時使用のないように注意してください。
※圧力変動がおこり、湯温が急上昇してヤケドをする恐れがあります。　指示実行

同梱の施工型紙を必ずご使用ください。
※手洗器がカウンターに正しくセットされない場合があります。　指示実行

給排水管の接続は確実に行ってください。
※漏水により家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。　指示実行

止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。
※漏水により家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。　指示実行

フレキホースの差し直しをする際は、必ず湯側、水側の両方の止水栓を閉じてから行ってください。
※湯・水が噴出してヤケドをしたり、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。　指示実行

給湯器の給湯温度設定は85℃以下でご使用ください。
※水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。　指示実行

カウンターに手洗器を固定する場合はねじを締めすぎないようにしてください。
※手洗器が割れてケガをする恐れがあります。　禁止

衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。
※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。　禁止

手洗器は割れものです。
●施工前に輸送中の破損がないことを確認してください。
●施工後に施工段階での破損がないことを確認してください。
※破損部でケガをしたり、漏水により家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。　指示実行

手洗器に熱湯を注がないでください。
※手洗器が破損してケガをしたり、水漏れのため家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。　禁止

お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
寒冷地仕様の水抜き方法は、取扱説明書を参照ください。
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。　指示実行

手洗器に硬いものを落とさないでください。
※手洗器が破損してケガをしたり、水漏れのため家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。　禁止

手洗器にひびが入ったり、割れた場合、破損部には素手で触らないでください。
※破損部でケガをする恐れがあります。　禁止

手洗器にひびが入ったままで使用しないでください。
※手洗器が割れてケガをする恐れがあります。　禁止

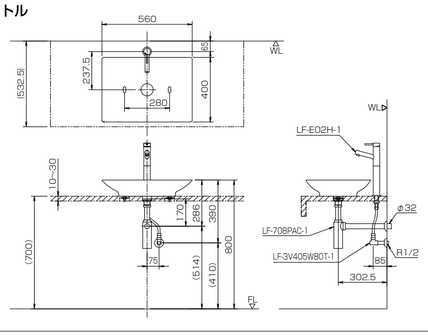
施工後に漏水検査を必ず行ってください。
※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。　指示実行

汚れがついた手で手洗器の鉢面を触らないでください。
※防汚効果が低下し汚れがつきやすくなります。　禁止

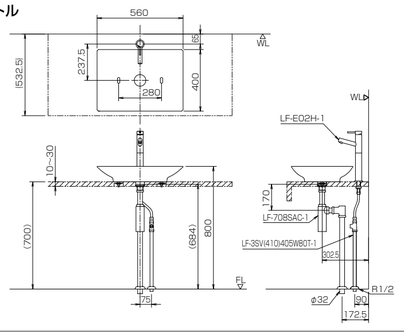
手洗器の排水口部分は突出しています。破損しないように養生してください。　指示実行

●施工完了図 〈施工例〉

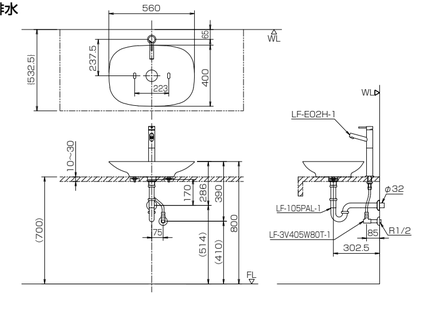
壁給水・壁ボトル



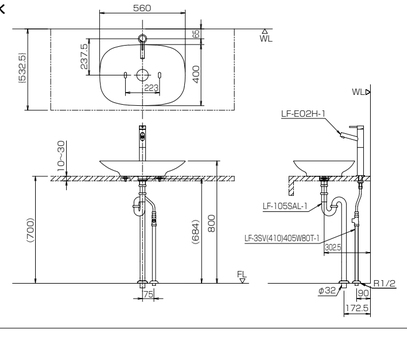
床給水・床ボトル



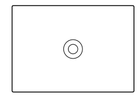
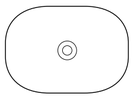
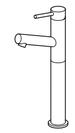
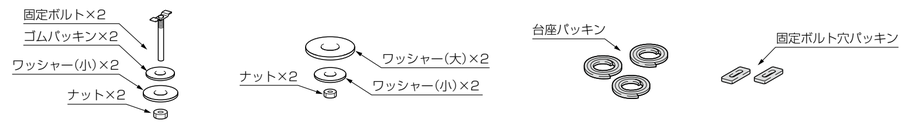
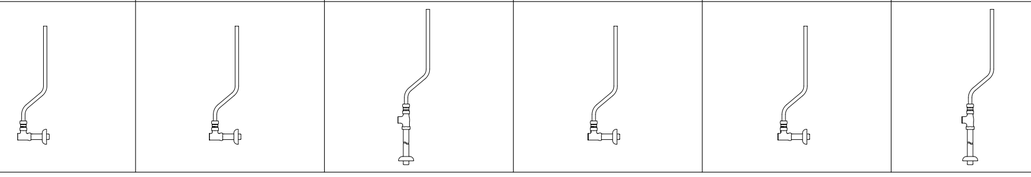
壁給水・壁排水



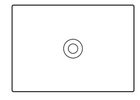
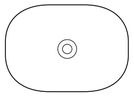
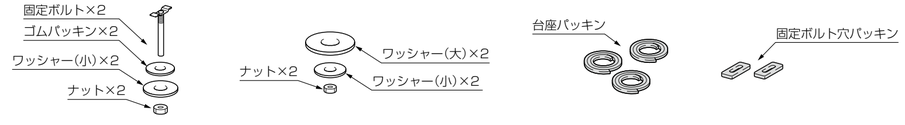
床給水・床排水



●梱包内訳

品　番	YL-A208TG(C)V	YL-A208TP(C)V	YL-A208TQ(C)V	YL-A209TG(C)V	YL-A209TP(C)V	YL-A209TQ(C)V
手洗器						
水栓						
固定金具 パッキン						
排水口カバー 排水金具						
排水トラップ						
止水栓						
取扱説明書 施工説明書 施工型紙						

※本製品は飲用に供さない水栓です。（飲用外品）

品　番	YL-A208(C)	YL-A209(C)
手洗器		
固定金具 パッキン		
排水口カバー 排水金具		
施工説明書 施工型紙		

株式会社 LIXIL

商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで

ナビダイヤル　TEL 0570-017-173

受付時間　平日 9:00～18:00　土日・祝日 9:00～17:00（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

●施工前の確認・注意

※現場調達のカウンターは、水平に施工してください。

注意
型紙は手洗器の位置合わせに使用しますので、捨てないでください。

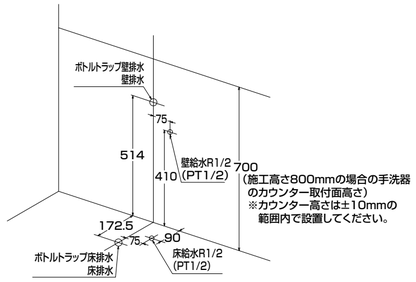
（1）取付けに必要な工具

●シングルレバー単水栓の取付には別売の専用工具KG-1（対辺24）またはKG-2（対辺24）が必要です。

（2）手洗器の給排水位置について

●手洗器用に、給排水管の立ち上げが必要です。給排水管の取出し位置は決まっていますので、必ず指定の位置に取出してください。
●取出し位置のずれは±10mm以内としてください。

YL-A208*/YL-A209*の場合
（シングルレバー単水栓）



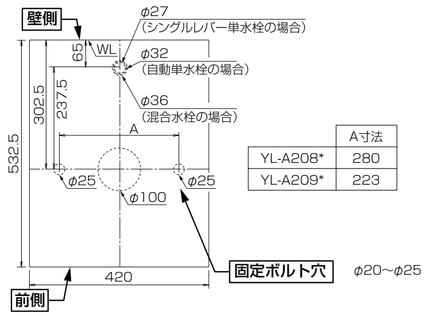
注意
●器具取付前に給水管、排水管内に異物が混入しないようにしてください。
●給水管にはプラグ（LF-7T）、排水管にはビニール袋等でカバーしてください。

（3）補強木の位置について

現場調達カウンターの場合、市販ブラケットの木ねじ位置に、カウンターの重量に応じた補強木をあらかじめ設けてください。（手洗器セット総重量は約12Kgあります）

（4）カウンター開口と固定穴位置について

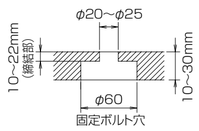
同梱の型紙（PSZ-1311）を用いて施工してください。



	A寸法
YL-A208*	280
YL-A209*	223

固定ボルト穴

※φ60は市販一般締結工具（モンキレンチ）のヘッドが入るためのスペースです。お手持ちの使用工具でナットが締結できればこの限りではありません。



【カウンター穴あけ加工手順】

固定ボルト穴の開口

●YL-A208、YL-A209共通
(1)型紙（PSZ-1311）をカウンター開口に合わせます。
(2)φ20～25mmのドリルで、各洗面器に応じた固定ボルト用の穴を開けます。
(3)カウンター厚さが23mm以上の場合は、φ60mmのホルソーでカウンター厚さに応じて締結部が10mm～22mmになるようにざぐってください。

（5）給水条件

水栓に同梱されている施工説明書を参照ください。

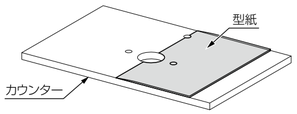
（6）排水管の注意

水栓に同梱されている施工説明書を参照ください。

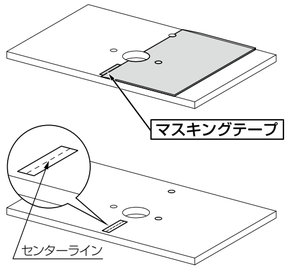
●施工方法

1．手洗器、水栓金具の位置合わせ

（1）型紙を半分に折り、開口に合わせてカウンターにセットします。
※型紙は印字側が表になるように折ってください。折らずに施工した場合、手洗器のセンター出しができなくなります。
※カウンター開口と型紙がずれないようにしてください。



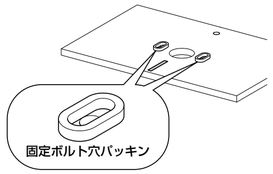
（2）型紙の折り目に沿ってセンターラインが引けるように、マスキングテープを貼ります。マスキングテープにセンターラインを引いたら、型紙を取り除きます。
※このマスキングテープはカウンターのセンターを示します。
※このマスキングテープに沿って手洗器の中心を合わせます。手洗器取り付け後に剥がしますので、テープ長さは5cm程度としてください。



2．固定ボルト穴パッキンの貼付け

カウンター上のボルト穴周りに固定ボルト穴パッキンを貼り付けます。

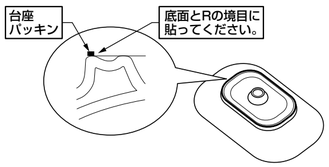
注意
固定ボルト穴パッキンを手洗器に貼り付けないでください。



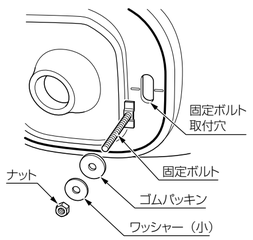
3．手洗器の取付け

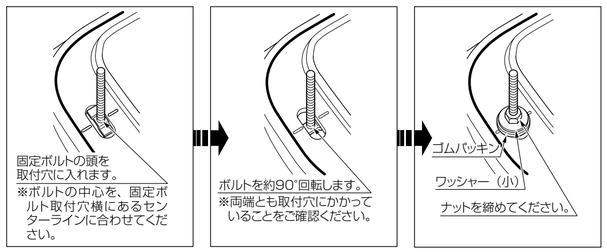
（1）手洗器の裏面に台座パッキンを貼り付けます。
※台座面の外側の足に貼り付けてください。
※貼付面の汚れ・ホコリなど十分に拭き取った後に貼り付けしてください。
※台座パッキンの始端と終端は、隙間ができないように重ねて貼ってください。

注意
●手洗器の裏面に台座パッキンを必ず貼り付けてください。
●手洗器表面にキズが付かないように、養生シートの上で作業してください。



（2）手洗器に固定金具を取り付けます。

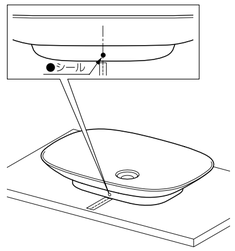




注意
●手洗器に固定ボルトを取付ける場合、ナットを締めすぎないようにしてください。
※手洗器が割れる恐れがあります。
●必ず、固定ボルトが傾いていないことを確認してください。カウンター取り付け時にTボルトが干渉する恐れがあります。

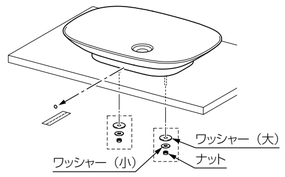
（3）手洗器中心の●シールをカウンターのセンターに合わせてのせ、取付位置を調整します。

注意
●手洗器に衝撃を与えると手洗器が破損してケガをする恐れがあります。
●カウンターに傷をつけないようにしてください。
●汚れがついた手で、手洗器の鉢面を触らないでください。防汚効果が低下します。
●手洗器の取付位置は、型紙に記載の寸法に合わせてください。



（4）カウンターの下から、固定ボルトにワッシャー(大)、ワッシャー(小)、ナットの順に取付け、手洗器を固定します。

注意
ナットを締めすぎないようにしてください。
※手洗器が割れる恐れがあります。

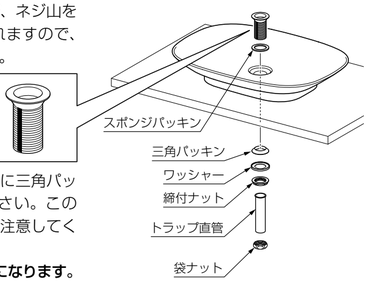


(5)●シール、マスキングテープをはがしてください。

4．排水金具の取付け

排水金具のツバ下パッキンには、スポンジパッキンが使用してありますが、ネジ山を伝って漏水することが考えられますので、図のようにシールしてください。

ねじ山にシリコン等のシール剤を塗布してください。

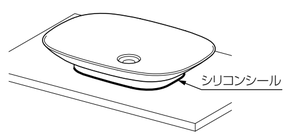


上部にスポンジパッキン、下部に三角パッキンをはめて締め付けてください。この際、締めすぎにならないように注意してください。
※排水金具が変形し漏水の原因になります。

5．カウンターと手洗器接地面のシリコンシール

重要
カウンターと手洗器の接地面にシリコンシールを必ず行ってください。
※シリコンシール時にクリアランスが狭い場合は、市販の曲げノズルを使用してください。
※水漏れのため家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

注意
汚れがついた手で洗面器の鉢面を触らないでください。
※汚濁効果が低下し汚れがつきやすくなります。

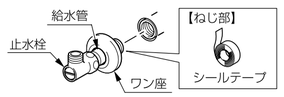


6．水栓金具の取付け

水栓に同梱されている施工説明書をご参照ください。

7．給水管、止水栓の取付け

建築側給水取り出しに止水栓、給水管、ワン座を取り付けます。
※ねじ部にはシールテープを巻き付けてください。



※図は、壁給水の場合

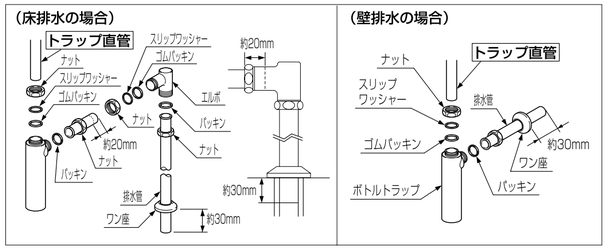
8．水栓金具の給水ホース接続

水栓に同梱されている施工説明書をご参照ください。

9．排水管の接続

排水管を仮組みし、建築側排水立上げ管への差し込み代（約30mm）を残して切断します。

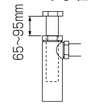
［ボトルトラップの取付け］



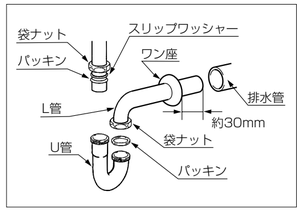
※トラップ直管は、絶対に切らないでください。
※下図の寸法（ボトルトラップ封水深）が65～95mmになっていることを必ず確認してください。
※床排水の場合、エルボーとの差し込み代は約20mm確保してください。

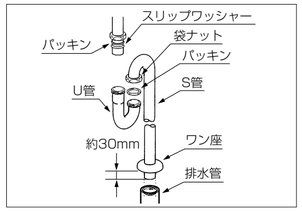
［ボトルトラップ封水深の確認］

（シングルレバー単水栓仕様の場合）



［Sトラップ、Pトラップの取付け］





10．排水口カバーの取付方法

排水金具に排水口カバーを右回りに回して、止まるまで締め付けます。（約3回転）
※手洗器に排水口カバーを落とさないように注意してください。落とした場合、手洗器を破損したり、ねじがつぶれて施工できなくなる恐れがあります。
※排水口カバーはまっすぐ立て、ゆっくり締め付けてください。斜めに取り付けると、外せなくなる恐れがあります。
※排水口カバーのネジ部分は、浴室用洗剤をつけた歯ブラシで定期的に掃除してください。固着して外れなくなる恐れがあります。

11．水栓金具の通水検査、水漏れ点検、整流口の清掃

水栓に同梱されている施工説明書をご参照ください。

12．引渡前の確認

漏水検査を必ず行ってください。
※水栓・排水金具に同梱されている施工説明書をご参照ください。

《完了後の処理（必ず実施してください。）》

不要部材を処分する場合は、必ず公的許可を受けている業者に依頼してください。

●トラップのお手入れ方法

●手洗器の水はけが悪くなった際は、市販の排水管洗浄剤（中性または弱アルカリ性）でお手入れしてください。
※お手入れ後は洗浄剤が中に残らないよう、水で十分洗い流してください。
●排水管洗浄剤を使用しても水はけがよくならない場合は、下記手順で排水トラップの掃除をしてください。

［Sトラップ、Pトラップのはずし方］

袋ナットを外してU管を外してください。水が垂れますので、下にバケツ等置いて作業してください。

［ボトルトラップのはずし方］

袋ナットを外してボトルトラップ本体を外してください。重いので落とさないようにしてください。
水が垂れますので、下にバケツ等置いて作業してください。